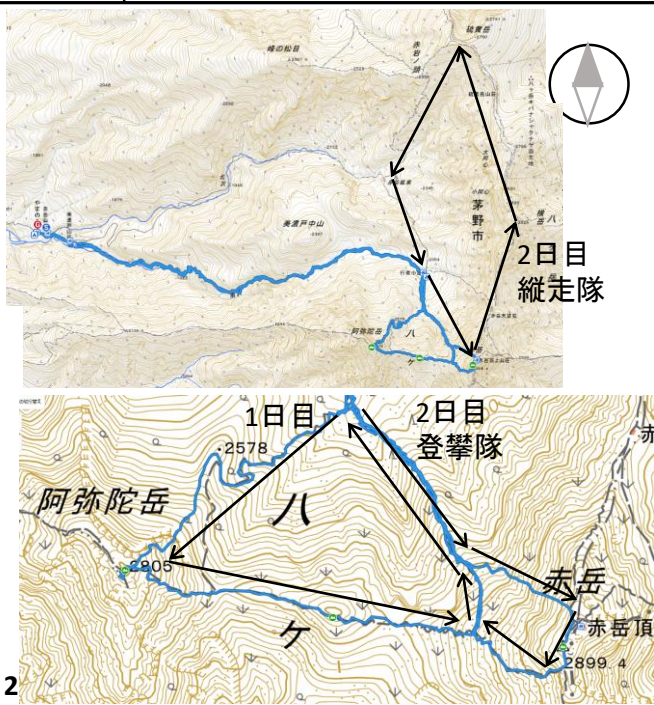


9 月度 例会 個人山行報告書		報告者	藤本	参加メンバー	CL 小田、 鈴木よ、 藤本(記)
		報告日	11/3		
山域	八ヶ岳	山行日	2020/10/31 - 11/01		
山名	赤岳など				
山行目的	冬合宿の偵察	コースタイム(天候:天気図記号)			

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集会担当者



<p>1日目</p> <p>5:00 刈谷発</p> <p>8:40 美濃戸山荘発</p> <p>10:30 行者小屋 幕営</p> <p>11:30 行者小屋発</p> <p>12:00 取りつき</p> <p>14:00 阿弥陀岳山頂</p> <p>15:50 行者小屋</p>	<p>2日目 縦走隊(小田)</p> <p>5:00 起床</p> <p>6:15 行者小屋発</p> <p>7:30 赤岳</p> <p>9:30 横岳</p> <p>10:30 硫黄岳</p> <p>12:00 行者小屋</p> <p>2日目 つづき</p> <p>12:30 行者小屋発</p> <p>13:50 美濃戸山荘</p> <p>14:30 ☁</p> <p>19:00 刈谷着</p>
<p>2日目 登攀隊 (鈴木、藤本)</p> <p>5:00 起床</p> <p>6:15 行者小屋発</p> <p>7:00 取りつき</p> <p>10:30 赤岳山頂</p> <p>11:30 行者小屋</p>	

〈山行報告〉

1日目は行者小屋でテント設営後に3人で阿弥陀岳北稜へ。小屋から30分ほどで分岐に到着。急斜面を10mほど登れば見晴らしの良い稜線に取りつく。北アルプスまで見渡せる景色をしばし堪能し、さらに20分ほど草付きを登ると開始点に取りつく。2ピッチを難なく通過。支点は明瞭だが、1ピッチ目は45mほどロープが出たため声が届きにくく、途中で切っても良い。2ピッチ目は5mほどのリッジがあり雪があれば楽しそうだが、無雪期は難無し。山頂は紅葉最盛期の麓から遠くの山まで見渡せ、風も穏やかで気持ちが良い。しばし休憩後に文三郎尾根経由で翌日の取りつきを確認してから下山。

2日目は鈴木、藤本で赤岳主稜を登攀し、小田は赤岳～硫黄岳を縦走した。主稜は思い返せば取りつきまでのトラバースが核心であった。ロープを出しても良かったが、積雪があれば問題無かろう。3ピッチ+草付きの尾根をコンテ+3ピッチで赤岳北峰登山道の下部に到着。各種トポの情報通り難度は低いが浮石には注意が必要。4ピッチ目出だしで拳程度の落石にヒヤリとする瞬間があった。草付き手前の3ピッチ目は念のため10mほどロープを出したが無くても良かった。最終ピッチは50m弱あり声が聞こえない。風があれば手前で切るべし。アンカーや支点はボルトがあつたりなかったり。探せば岩で十分取れる。ビレイは2, 3ピッチ目以外は岩陰で風をある程度回避できたが、さすがに終盤は手足が冷えた。冬は十分な防寒が必須。縦走は稜線に出てから西からの風が強かったものの快適な稜線歩きだった模様。

2週間前の季節外れの寒気による積雪が心配される中での山行であったが、天候は素晴らしく良く、アイゼンを出すほどの凍結もなく、快適な山行であった。ただ、夜はよく冷えた。寒気で寝付けなかったが、カイロを股に挟むと見事に震えがおさまった。寒がりな方はお試しあれ。

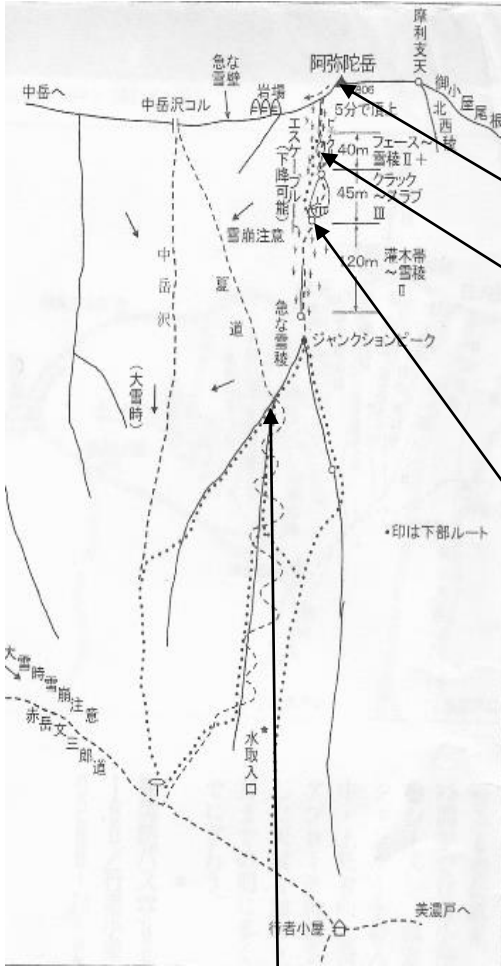
確認
(リーダー)
20/11/11
小田

〈リーダー所見〉

今回の下見は天候にも恵まれ、大変気持ちの良い山行ができました。しかし、縦走、登攀コースとともに冬季で天候崩れると風雪が強くなることが予想されるため、すばやい行動が求められる。本番まで各人準備したい。

作成
(報告者)
20/11/07
藤本

・阿弥陀北稜



山頂



2ピッチ目のリッジ



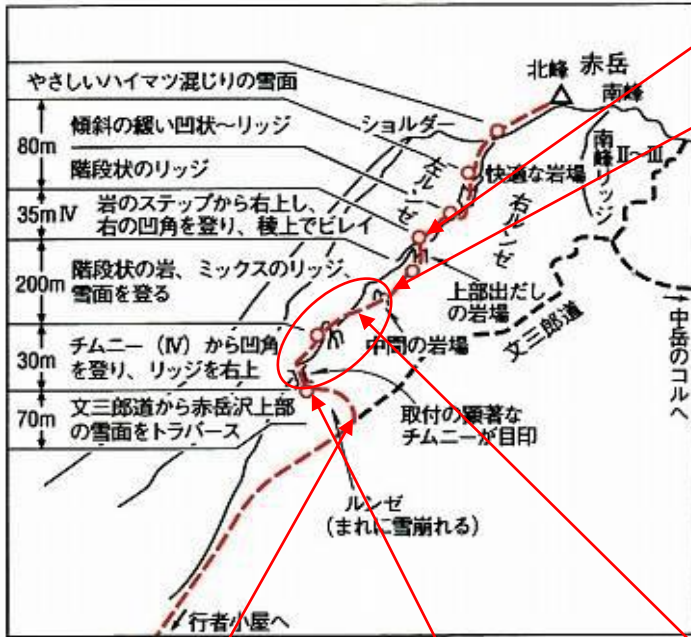
夏道から北稜への分岐



開始点(岩の左面)



・赤岳主稜



開始点が2カ所あったが右側を登攀

図と異なり3ピッチに切った。
3ピッチ目は確保なしでも良さそう。

・2ピッチ目終了点



・取りつきまでのトラバース



・取りつきのチョックストーン。左から乗り込む。

